

☆はじめに☆

新緑の美しい爽やかな季節になりました。街のあちらこちらにこいのぼりが元気に泳いでいます。ゴールデンウィークはいかがでしたか？保護者の皆さまも子ども（家庭）サービスに大変お疲れになられたことでしょうか。気分を切り替えてまたお互いががんばりましょう。子どもたちも生活リズムを保育園モードに切り替えて楽しんでくれると思っています。年度変わりの時期を終えてひと段落するこの時期は、気の緩み等から事故や体調不良を起こしたりしがちです。園でも引き続き「子どもの命を預かっている」ことを常に念頭に置き、再確認して保育を実施してまいります。保護者の皆さまもどうぞ体調管理に十分お気をつけ下さいませ。新たに入園してきた子どもたちも園生活に慣れ、かわいい笑顔を見せてくれています。

☆お願い☆

保育園は集団生活の場であることは言うまでもありませんが、集団であればこそその場のルールがあり、従っていかなければその生活の場は成り立ちません。心地よい保育園生活であるためにも保護者の皆さまのご協力とご理解をよろしくお願いいたします。

■送迎時において、路上への駐停車は絶対におやめください。ご近所、他の保護者の方に迷惑をかけたり、危険を伴います。

■送迎時（特に送り）の際はお急ぎでしょうが、部屋の中でお子さんと一緒に準備をお願いします。部屋の中で会話を交わしながら、作品でも見ていただければ子どもの落ち着きの度合いが高まると考えます。しかしながら担当保育士も外に出たり、また、ローテーション等もあることから、それぞれの部屋で迎え入れることは不十分ですが、出来る限りみなさまに声かけはしておりますので、どうかご理解をいただき、皆さまからも積極的なコミュニケーションを図っていただきたく存じます

■持ち物には必ず記名をお願いします。迷子になった服は1Fに置いていますが、必ずどこかのクラスには迷子服があるような状況です。保育士も誰のものかできる限り覚えておくよう努めていますが、似たような服もありますのでご協力をお願いします。

Footmark Letter 5 May

☆子どものために出来ること☆

私たちが子育てする上で子どもと向き合う時、子どものためにまず何をすべきでしょうか。私たちはまず、子ども自身の自己評価をいかに高めてあげられるかが大切だと考えます。その為には何をすればいいのでしょうか。まず、赤ちゃんならばスキンシップです。そして目を合わせて、笑顔で、色々と話しかけてやるのが大切です。これだけで赤ちゃんには自分の存在をまわりのみんなが喜んでくれていると感じます。いわゆる「サイレント・ベビー」と呼ばれる無表情な子ども、このような関わりによって表情を取り戻す場合も多々あるようです。次にある程度、話せるようになった子どもには、繰り返し、繰り返し話を聞いてやるのがとても大切になってきます。ケースによりますが決してお子さん以上に保護者が喋り過ぎない、あくまで話を聞いてあげることを前提にする事が大切です。まずは「そうか、そうか」と話を聞いてあげて、子どもの存在感に対する安心を育てあげましょう。（**相手の話を真剣に聞いてやることだけで、あなたは大切な存在だよと伝えることが出来ます**）そして「そうなの、大変だったね、えらかったね」と相手の気持ちをうけとめてあげる。それだけで子どもは、すごく自分が大切にしてもらえたという気持ちになることが出来ます。

行事予定

- 12（月）身体計測
- 21（水）避難訓練
- 27（火）お楽しみ会（誕生会）
- 31（土）親子遠足

☆職員研修☆

- 20（火）コミュニケーション実践（中村主）
- 30（金）市主催継続研修（北原）

☆言葉への理解☆

日々流れていく中でお子さんのほんのちょっとした成長って見逃しがちですよ。例えば、これっていつから出来るようになったっけ？と思うことはありませんか？もちろん毎日の積み重ねなので急に出来るわけではないのですが、その小さい体で見たり聞いたり感じたりしながらいろんなことを身につけていることが側にいてよく感じられます。「お手て入れるよ」というと片手ずつ袖を通してくれたり、手におもちゃを持ってる赤ちゃんと通す手と反対に持ち変えたりベビーカー乗ろうね」と座らせると前のガードを自分でつけようとするかのように持って動かしたり・・・成長につれて言葉をきちんと理解した上での行動なんだろうと思うことが多くなってきます。そんな小さな小さな変化ですが出来るだけその1つ1つに気付いて見守ってあげたいと思っています。